

2013 年度
活 動 報 告 書
2013 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日

2014 年 2 月 6 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2013 年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」
 - 1-1. どこカル. ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル. ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル. ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル. ネット運営体制
2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制
3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 2-3. アグリライフの運営体制
4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会
5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メーリングリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営
6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2013 年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに「2013 年度の報告と今後の抱負」

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)は、法人設立以来 12 年がたとうとしています。任意団体時代を含めると 15 年目を迎えるとしています。この間に、情報通信技術の最先端の成果を活用しながら、持続可能な地域づくりに取り組んできました。社会性のある新たなビジネスを起こすいわゆるソーシャル・ビジネスとして、伝統の和装を世界に広げようという「愛きもの」の活動や、障がいのある人のためのタイピングソフト「ウチコミくん」の開発とリリースなども行ってきました。豊かな地域社会を支え、持続可能な地域の社会基盤となる情報インフラ「みあこネット」の開発と構築、持続可能な農と食を実現し安全で健康な暮らしを追求するアグリライフ活動、そして、従来の医療や健康の考え方を電子カルテとネットワークの活用を通じて一人一人の市民の視点に立って根底から組み替える「ポケットカルテ」や地域共通診察券「すこやか安心カード」の開発とその社会実装などを実現してきました。その中には既に社会的使命を終えたものもありますが、いずれもその時々の時代の先端にあって社会を牽引してきました。

15 年目を迎えたという点では、実は、昨年 2013 年 12 月に開催した第 15 回京都研究会もそうなのです。設立以来継続しているこの研究会は様々な成果を生み出してきましたが、今年はその共通テーマを、「改めて循環型社会を考える～SCCJ の原点に戻って～」と題して、これまでの持続可能な地域づくりの理想や基本原則を思い起こしながら、その一方では未来を見据えて、新たな社会の仕組みを構築し直していく可能性を追求することにしました。そこでは、資源やエネルギーの循環が強く意識される時代に、持続可能な地域、持続可能な農業、持続可能な地産地消型エネルギー、そして持続可能な医療・保健・福祉の構想などを議論することができました。

2013 年度の 1 年間は、「どこカル・ネット」のように、着実に大きく育ってきたプロジェクトもありますが、その一方では、少しずつですが、従来の事業の整理と新たな事業分野への開拓がはじまりつつある事業もある、そうした年になりました。

2014 年は、この一年間の蓄積、またこれまでの 15 年の経験を活かして、一つは、「どこカル・ネット」のさらに大きな飛躍の年にしたいと思います。「どこカル・ネット」は、新しい社会インフラとして、そして市民生活を根本からイノベーションするものとして、各方面からの期待も大きいですし、それを実現する実力を持っているのです。その一方で、もう一つぜひ考えたいのは、第 15 回京都研究会で生まれた地域や農業そしてエネルギーなどの新しい芽を、少しずつしかできないと思いますが、育てていきたいと思っています。

新しい年度を迎えて、これから SCCJ の活動を活発に進めていくためには、多くの会員の方々の積極的なご支援が必要ですし、ご鞭撻をいただかなければ大きく前進することはかなわないと考えています。会員各位のご協力に大きく期待申し上げますとともに、皆様と一緒に持続可能な新しい地域をつくっていく一歩を踏み出すことができればと考えています。

2014 年 2 月吉日

特定非営利活動法人
日本サステナブル・コミュニティ・センター
代表理事 新川 達郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル・ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル・ネットの活動概要

「どこカル・ネット」は、近年、少しずつ普及はじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような(すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような)地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル・ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3二次医療圏を経て、現状、47二次医療圏の地域中核病院・団体に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行っている。

また、同プロジェクトに賛同する31社を会員に迎え、導入支援チームとして、会員数社から4名のボランティアスタッフにSEとしてご協力いただいている。

また、2008年10月より、個人の健康履歴(検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー)を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル・ネットのサービス概要

■特徴:いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

- 【1】いつでも:ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医(診療所)」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有(一地域一患者一電子カルテ)を行う。(注:ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。)
- 【2】どこでも=ユビキタス:「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者=住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。
- 【3】だれでも:ITコンソーシアム京都(京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成)医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券(無償)」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。
- 【4】安心安全:「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ(無線基地局)を利用。また、医療従事者や患者=住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証(生体認証のひとつ)」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。
- 【5】質の高い健康・医療・福祉:共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル・ネットの各種活動実績

2012年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル・ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、中辻事業運営責任者及びスタッフ一同で定例会議を実施。2013年度においては計40回の会議を開催した。

■医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちなITスキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2013年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関、団体は47病院、1診療所グループ。

■「ポケットカルテ」～特定健診・保健指導データにも対応した個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス(PHR:Personal Health Record)で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から4ヶ月間(2009年1月時点)で、10,000ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHSに加え、普及が目覚しいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在(2013年12月時点)30,000ユーザーを超えている。

2013年は、高齢者や乳幼児など、携帯電話・PHSやスマートフォン・パソコンなどに馴染みがなく、自身の「ポケットカルテ」にアクセスする方法がない地域住民向けに、新たな端末への展開を進めた。

具体的には、株式会社ジュピターテレコム（以下J:COM）と連携し、J:COMインターネット上で「ポケットカルテ」が閲覧可能なサービスを10月1日から開始した。



J:COMインタラクTV上での 「ポケットカルテ」イメージ

京都新聞 「TVで自分の健康情報」10月29日(火)

受診記録を一元管理

さまざまな医療機関での受診記録をインターネット上で一元管理し携帯電話などで閲覧できるサービス「ポケットカルテ」の利用者が増えている。今月からは、ケーブルテレビ運営会社「ジェイコムウエスト京都みやびじょん局」(京都府京都市)と連携し、新たに自宅のテレビからも健康情報の管理ができるサービスも始まった。

ポケットカルテはNPO法人「SOCJ」(京都市)

が展開する健康情報管理サ



トカルテを説明する北岡部長
下京区で
7。
【堀智行】

ポケットカルテ 携帯などで閲覧 利用者増

サービス。同法人顧問で国立病院機構京都医療センターの北岡有喜医療情報部長が、1995年の阪神大震災で医療機関が壊滅し紙力で消失した経験から、大規模災害時のサーフィンネットの必要性を痛感したことなどから考案した。

2008年から無料でサービスを始め、府内の病院や全国の調剤薬局と連携し、9月末現在、約3万人が利用している。

10月からは京都みやびじょん局の情報検索ができる「インターネットTV」サービスを通じ、特定健診結果や医療費明細書の閲覧や、電子版のお薬手帳による薬歴管理などを利用できる。北岡部長は「ポケットカルテで健康管理が容易になり、医療情報が蓄積されるため、転院などの際に再検査などに煩わされず効率的な受診ができる」と話している。問い合わせはSOCJ(0120・988・61

毎日新聞 「受信記録を一元管理」10月30日(水)

地域共通診察券「すこやか安心カード」(後述)1枚でポケットカルテのサービスが利活用可能な、据え置き型の患者用情報端末の開発を行った。



写真:ポケットカルテ「地域共通診察券」情報端末イメージ

また、2011年11月からサービスを開始した「ポケットカルテ」のサービス「電子版お薬手帳」は、調剤薬局で発行される領収書に印字された「2次元バーコード」情報から処方情報及び医療費情報を読み込み、「電子版お薬手帳」における情報管理を可能にするサービスで、全国590以上の薬局店舗で利用できるようになった。

さらに「電子版お薬手帳」に加え、医療現場や学会、自治体と連携し、「ポケットカルテ」に母子手帳、透析手帳、糖尿病手帳、がん診療連携手帳などの各種診療手帳機能の実装を行っている。



ポケットカルテ「電子版透析手帳」イメージ

一人ひとりの日々の健康、医療、福祉履歴情報を電子化して一元管理し、簡単に情報を閲覧可能にすることで、自身の履歴情報を根拠とした質の高い医療サービスを受診できる社会の実現に向け、着実に進捗している。

■ 地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成22年度・23年度に、総務省「地域ICT利活用広域連携事業」に「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」(以下、「地域共通診察券事業」とする)を提案し、採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圈リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源(医療従事者・医療機器・設備)をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。



サービス概念図

2012年3月で総務省「地域ICT利活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行った。2013年12月には京都府京田辺市でのサービス提供を開始し、地域共通診察券「すこやか安心カード」が利用可能な医療機関は、91件(18病院、33診療所、40調剤薬局、2013年12月時点)となった。また、京都府腎臓病患者協議会などと連携し、広報活動を行うことにより、地域共通診察券「すこやか安心カード」の実利用者数は14,299名(2013年12月時点)となった。

地域共通診察券「すこやか安心カード」は、複数の対応医療機関で利用可能な「診察券」であるが、医療機関での受付の他、医療費の精算、院外処方せんのFAX送信なども対応し、便利になった。



写真:地域共通診察券に対応した自動精算機

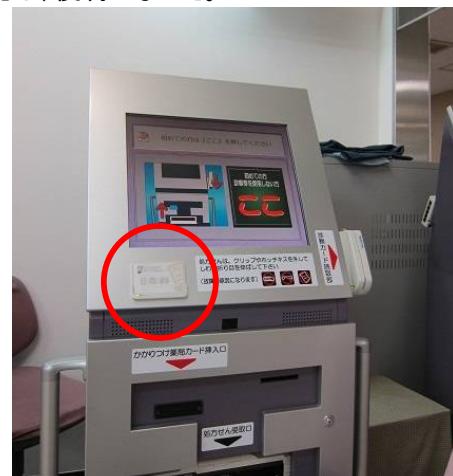


写真:無人院外処方せんFAX機

また、「診察券」としての機能に加え、上記ポケットカルテ「地域共通診察券」情報端末では、「ポケットカルテ」にログインする際の個人認証を行う機能を加えた。この機能により、特に携帯電話・PHSやスマートフォン・パソコンに馴染みのない地域住民にも、地域共通診察券「すこやか安心カード」1枚を持っていることで、「ポケットカルテ」の機能

が利活用できる環境が整った。

今後も「ポケットカルテ」・「地域共通診察券「すこやか安心カード」」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真:運営協議会での様子



写真:平成24年度近畿ICT利活用普及促進セミナーでの様子



写真:国際モダンホスピタルショウ
2013での様子

■ 「どこカル、ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2013年度においては7回の研修会を開催した。

＜研修会開催日＞

- ・ 2013年1月25日(金) 第50回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年3月22日(金) 第51回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年5月17日(金) 第52回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年7月26日(金) 第53回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年9月20日(金) 第54回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年11月22日(金) 第55回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 2013年12月20日(金) 第56回どこカル、ネット企業会員研修会



写真:会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第9回目の開催となる2013年度は、東京都の小学校6年生小林 岳様が最優秀賞を受賞。全国の小学生から全国各地偏りなく400字詰めいっぱいに書かれた力作が多く集まった。未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていくことがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。2014年度以降も継続して開催予定である。

■ 2013年の主なイベント一覧

- ・ 01月10日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月17日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月18日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 01月24日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月24日 総務省 第29回(平成24年度第10回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会

- ・ 01 月 25 日 第 50 回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 01 月 31 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 07 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 07 日 総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会主催「近畿ICT利活用普及促進セミナー」にて講演
- ・ 02 月 14 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 21 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02 月 21 日 総務省 第 30 回(平成 24 年度第 11 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
 - ・ 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02 月 21 日 総務省 平成 24 年度第 11 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 02 月 28 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 03 日 公益社団法人静岡県病院協会主催「第 52 回静岡県病院学会」にて基調講演
- ・ 03 月 05 日 名古屋掖済会病院主催「電子版お薬手帳説明会」に参加
- ・ 03 月 07 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 14 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 17 日 ポケットカルテ HP リニューアル(運営協議会・合同勉強会のページを公開)
- ・ 03 月 18 日 京都医療センター「地域共通診察券申し込みコーナー」が 1 階の初診窓口①番の右手に移動
- ・ 03 月 21 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03 月 21 日 総務省 第 31 回(平成 24 年度第 12 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
 - ・ 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03 月 21 日 総務省 平成 24 年度第 12 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 03 月 28 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 04 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 10 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 10 日 近畿情報通信協議会 会報誌「KICC Spring issue 10」(2013 年 3 月発行)の医療分野での ICT 利活用事業の取組紹介の中で「個人向け健康情報管理サービス『ポケットカルテ』」について」を執筆
- ・ 04 月 11 日 地域医療福祉情報連携協議会「ID 連携・IC カード分科会」第 3 回分科会
- ・ 04 月 18 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04 月 18 日 総務省 第 32 回(平成 25 年度第 1 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
 - ・ 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04 月 20 日 JBCC ヘルスケア・コンソーシアム(JBHC)JBCC 株式会社主催「JBHC 医療総合セミナー 2013」にて講演
- ・ 04 月 25 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 02 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 08 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 09 日 名古屋掖済会病院主催「第 3 回電子版お薬手帳説明会 & エキサイネットユーザー会合同説明会」に参加
- ・ 05 月 10 日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 05 月 16 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 16 日 総務省 第 33 回(平成 25 年度第 2 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
 - ・ 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 05 月 16 日 総務省 平成 25 年度第 2 回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 05 月 17 日 第 52 回どこカル. ネット企業会員研修会
- ・ 05 月 23 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05 月 30 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 06 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 08 日 第 31 回ハイリスク児フローラップ研究会に参加(神戸大学医学部神緑会館)
- ・ 06 月 09 日 京都腎臓病患者協議会第 1 回幹事会「京都社会福祉会館」にて地域共通診察券(すこやか安心カード)を出張発行
- ・ 06 月 13 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 20 日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06 月 20 日 総務省 第 34 回(平成 25 年度第 3 回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心

- ・ 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06月20日 総務省 平成25年度第3回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 06月24日～27日 地域共通診察券利用者を対象とした「外来患者の皆様への病院受診等について」アンケートを実施
- ・ 06月28日 高松医療センターで講演
- ・ 06月28日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月03日 【ITコンソーシアム京都】第8回委員会・総会参加。平成25年度事業計画(案)では、「医療情報化部会」の事業の一環として、引き続き「ポケットカルテ」及び「地域共通診察券」の普及啓発活動を推進することを挙げており、総会にて賛成多数で可決された
- ・ 07月04日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月05日 生駒市医療費適正化専門部会に参加
- ・ 07月10日 第4回ID連携ICカード分科会参加(Skype参加)
- ・ 07月11日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月14日 京都腎臓病患者協議会幹事研修会「京都社会福祉会館」にて「地域共通診察券(すこやか安心カード)」を出張発行
- ・ 07月17日～19日 一般社団法人日本病院会/一般社団法人日本経営協会主催「国際モダンホスピタルショウ2013」開催。財団法人聖マリアンナ会(どこカル、ネット企業会員)ブースで「ポケットカルテ」を出展
- ・ 07月18日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月18日 総務省 第35回(平成25年度第4回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 07月18日 総務省 平成25年度第4回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 07月19日 九州大学大学院小児外科で講演(福岡市)
- ・ 07月25日 稲沢市民病院視察(京都医療センター)
- ・ 07月25日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月26日 第53回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 08月01日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月05日 財団法人聖マリアンナ会主催「財団法人聖マリアンナ会東横恵愛病院研修会」で講演(川崎市)
- ・ 08月08日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月15日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月22日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月22日 総務省 第36回(平成25年度第5回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08月22日 総務省 平成25年度第5回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 08月23日 南京都病院で講演
- ・ 08月29日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月05日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月07日 【神戸市産業振興財団主催「平成25年度医工連携人材育成セミナー」(第1回)にて講演(京都大学医学部構内南部総合研究1号館)
- ・ 09月12日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月13日 生駒市医療費等適正化推進委員会参加
- ・ 09月19日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月19日 総務省 第37回(平成25年度第6回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 09月19日 総務省 平成25年度第6回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 09月20日 第54回どこカル、ネット企業会員研修会
- ・ 09月28日 【NRN(新生児臨床研究ネットワーク)データベース会議】東京女子医科大学総合外来センター第7回周産期ネットワークデータベースの会合にて講演
- ・ 10月01日 株式会社ジュピターテレコム(J:COM)と連携し、ケーブルテレビ上でポケットカルテ「マイカルテ」が閲覧可能となるサービスの提供を開始
- ・ 10月03日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月04日 【平成25年度厚生労働科学研究費補助金「難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)」「小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成」第2回コアメンバー会議】にて講演
- ・ 10月06日 京都腎臓病患者協議会幹事会「京都社会福祉会館」にて「地域共通診察券(すこやか安心

カード)」を出張発行

- ・ 10月10日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月10日 一般財団法人関西情報センター主催「ITシンポジウムインフォテック2013」にて講演
- ・ 10月12日 生駒市・生駒市国民健康保険主催「生駒市 福祉と健康のつどい」にて講演
- ・ 10月16日 ポケットカルテ J:COM インタラクTV対応に関する報道について高齢者住宅新聞に掲載
- ・ 10月17日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月17日 総務省 第38回(平成25年度第7回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
- 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10月17日 総務省 平成25年度第7回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 10月24日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月25日 ポケットカルテ J:COM インタラクTV対応に関する報道について、KBS 京都情報番組「ほじぽ
ジたまご」(京都みやびじょん局)informationコーナーにて放映
- ・ 10月29日 ポケットカルテ J:COM インタラクTV対応に関する報道について「TVで自分の健康情報」と題し
、京都新聞に掲載
- ・ 10月30日 ポケットカルテ J:COM インタラクTV対応に関する報道について「受診記録を一元管理」と題し
、毎日新聞に掲載
- ・ 10月30日~1日 ポケットカルテメールアドレス登録者を対象とした「ポケットカルテ調査」について、インター
ネットによるアンケートを実施
- ・ 11月07日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月14日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月21日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月21日 総務省 第39回(平成25年度第8回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
- 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 11月22日 第55回どこカル・ネット企業会員研修会
- ・ 12月05日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月12日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月19日 定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月19日 総務省 第40回(平成25年度第9回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)」発行による安心
- 安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12月19日 総務省 平成25年度第9回「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」合同勉強会
- ・ 12月20日 第56回どこカル・ネット企業会員研修会

1-4. どこカル・ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
事業運営責任者	中辻 善行	NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官
國領 二郎	慶應義塾常任理事
堀部 政男	一橋大学名誉教授

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	JBCC 株式会社
	アライドテレシス株式会社	株式会社ソフトウェア・サービス
	株式会社医用工学研究所	デイスター・テクノロジーズ株式会社
	株式会社インスパイア	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	株式会社インテージ	日本システム開発株式会社
	株式会社エヌ・エイ・シー	日本調剤株式会社
	株式会社オー・エム・シー	株式会社日立ソリューションズ
	亀田医療情報株式会社	株式会社アルコバイオシステムズ
	京都電測株式会社	株式会社フェイス
	KDDI株式会社	株式会社ミライテクノ
	サクサ株式会社	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	ジュピターテレコム株式会社	株式会社リコー
	財団法人聖マリアンナ会	

他 6 社、計 31 社(50 音順、2013 年 12 月末現在)

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより 2002 年 5 月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。

企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPN を利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施している。

プロジェクト開始から 2005 年 3 月末までの 3 年間は、SCCJ を運営母体とする実証実験を実施。2005 年 4 月～2008 年 3 月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は 2008 年 3 月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008 年 4 月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されている。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

前年度までに引き続き「みあこネット方式」の普及支援を行った。

- 京都大学において展開されている「みあこネット方式」の基地局数が 1100 を超え、さらに増設中である。
- VPN プロトコルの一つ、PPTP (Point-to-Point トンネリングプロトコル) の認証メソッドである MS-CHAP v2 に、脆弱性があることが 2012 年 8 月に公表された。みあこネット方式でも現状 PPTP が広く利用されていることから、中長期的な方向性について検討を行っている。

(参考)

JPCERT/CC Alert 2012-08-23

「MS-CHAP v2 の認証情報漏えいの問題に関する注意喚起」

<https://www.jpcert.or.jp/at/2012/at120027.html>

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	岡部 寿男	京都大学学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授

【担当顧問】

氏名	所属

北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官
國領 二郎	慶應義塾常任理事
辻 正次	兵庫県大学大学院応用情報科学研究科教授

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICTを活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは 2005 年より実施している「ここちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009年6月1日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011 年1月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO)補佐官

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2013 年度は 2013 年 12 月 20 日(金)に開催した。内容は以下の通り。

■ 第 15 回京都研究会 2013

<http://www.sccj.com/kk/2013/>

「改めて循環型社会を考える～SCCJ の原点に戻って～」

【内容】

- 12:00～ 受付開始
 13:00～13:05 開会の挨拶：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
 NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）
 13:05～13:45 「京都の地域力再生～持続可能な地域づくりを目指して」
 講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステナブル・コ
 ミュニティ・センター代表理事）、
 鈴木 康久 氏（京都府府民生活部府民力推進課長）
 13:45～14:10 「持続可能な農業と地域の未来」講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステナブル・コ
 ミュニティ・センター理事）

14:10～14:55	「地産地消型エネルギーによる、持続可能な地域の再構築」 講演:竹原 司 (インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)、市川 克樹 氏(株 式会社オフィスブレーン代表取締役)
14:55～15:10	休憩
15:10～15:25	どこカル・ネット 『第9回未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール』最優秀賞表彰式
15:25～16:10	「ポケットカルテはなぜ考案されたのか？」 「ポケットカルテは現在の健康・医療・福祉環境にどのような変化をもたらすのか？」講演:北岡 有 喜(独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO 法人日本サステナブル・ コミュニティ・センター顧問)
16:15～16:45	【総合討論会】『改めて循環型社会を考える～SCCJの原点に戻って～』 コーディネータ:新川 達郎(同志社大学大学院総合政策科学研究科教 授/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事) パネリスト:竹原 司 (インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)、隅岡 敦史(NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター理事)、北岡 有喜(独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 医療情報部長/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター顧問)・鈴 木 康久 氏(京都府府民生活部府民力推進課長)・市川 克樹 氏(株式会社オフィスブレーン代 表取締役)
16:45～17:00	閉会の挨拶:竹原 司 (インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイション 最高顧問/NPO 法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事)

第2部 分科会(懇親会):閉会後～19:00

【会場】ルヴェ ソン ヴェール岡崎

住所:京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館内

電話:075-762-1777

【参加費】有料

・研究会(13:00～17:00)のみの参加

一般:1,000円

SCCJ会員(みあこ・どこカル・ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方
公共団体職員の方:無料

・研究会、懇親会(閉会後～19:00)すべて参加

一般:5,000円

SCCJ会員(みあこ・どこカル・ネット・アグリライフ企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員)および地方
公共団体職員の方:4,000円

【運営体制】

主催:特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

後援:京都府、京都市、京都新聞社、ITコンソーシアム京都

【定員】220名

5. 広報・マーケティング

Webサイト、プレスリリース、各種マーリングリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種マーリングリスト運営 (Yahoo! eGroups 利用)

SCCJ関連で、テーマ、目的別のマーリングリストが10数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用マーリングリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のマーリングリストで、設立当初の1999年190名から、2013年12月末に登録者は669名となった。

5-2. Webサイト運営

2013年現在運営しているサイトは以下の通り。

・SCCJ

<http://www.sccj.com/>

・「みあこネット」方式普及支援事業

<http://www.miako.net/>

・どこカル. ネット	http://www.dokokaru.net
・ポケットカルテ	http://pocketkarte.net/
・アグリライフ	http://www.agri-life.net/

6. 会員について (2013年12月末現在)

<SCCJ 正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	31	26	57
学生	0	0	0
合計	31	26	57

<どこカル. ネット企業・団体会員>31社

詳細は「どこカル. ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 総会

日時：2013年2月14日(木) 19:00-20:00

会場：京都市国際交流会館 第一会議室

2012年度活動報告・収支報告、NPO法改正による定款変更について、2013年度事業について了承された。

2. 2013年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2013年1月25日
- ・ 2013年2月14日
- ・ 2013年3月21日
- ・ 2013年4月18日
- ・ 2013年5月16日
- ・ 2013年6月20日
- ・ 2013年7月18日
- ・ 2013年8月22日
- ・ 2013年9月19日
- ・ 2013年10月17日
- ・ 2013年12月5日
- ・ 2013年12月19日

3. 事務局体制 (2013年12月末現在)

(1)職員

常勤：3名

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル. ネット事業運営責任者：中辻善行

どこカル. ネット事務局スタッフ：横田健吾

どこカル. ネットボランティア：25名

4. 理事、監事、顧問 (2013年12月末現在)

(50音順)

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	インフォグリーン株式会社代表取締役社長／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員

	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	嘉悦大学ビジネス創造学部学部教授
	北岡 有喜	京都医療センター 医療情報部長／国立病院機構 情報化統括責任者(CIO) 補佐官
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	兵庫県大学大学院応用情報科学研究科教授
	堀部 政男	一橋大学名誉教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上